



仙台市立鶴が丘小学校
生徒指導通信
令和3年8月25日
第4号

ふわふわ通信

一人で悩んでいませんか？



長い夏休みも終わり、1学期後半がスタートしました。休みが終わりに近づいてくると「学校行きたくないなあ・・・」とか、「気が重いなあ・・・」など、思う人も多いと思います。

そんな時、話を聞いてもらえる人がいるでしょうか。問題が解決しなくても、話を聞いてもらえるだけで、気持ちが軽くなる場合があります。

学校では、担任の先生はもちろん、どの先生に相談しても、しっかり話を聞きます。担任の先生以外にも、スクールカウンセラーの先生も話を聞きます。一人で悩まないことが大切です。

安心して通学するために・・・

児童が安心して登下校できるよう、夏休みに通学路の安全点検を行いました。

教頭、生徒指導主任、警察（交通課、生活安全課）、泉区道路課の職員で、本校の通学路で危険な箇所がないか点検しました。

普段は気が付かないのですが、道路に書かれた「止まれ」のマークが消えかかっている箇所があり、泉区道路課で線を引き直すそうです。また、一時停止であるにもかかわらず、止まらない車が多く危険なことから、警察で団地内の巡視を積極的にしてくれるそうです。

県民の森入り口付近では、夜間は真っ暗になってしまうことで、痴漢などに遭いやすいということで、警察の巡視と、鶴が丘中学校区の見回りを今後も行っていきます。また、草刈りを行い、見通しの良い環境を整備していくことを確認しました。

危険箇所のお知らせ



鶴が丘1丁目の通学路、地図の付近、横断歩道がない交差点ですが、学校方向について渡りたくなくなってしまいます。この場所に横断歩道があると便利なので、警察

等に相談したところ、「見通しが悪いカーブなので設置できない」とのことでした。今まで登下校時に渡っている児童を何度も見掛けています。極めて危ない所なので、遠回りにはなりますが、近くの横断歩道を渡って登下校するようにご家庭で確認して下さい。